

各学校に3部配布しています。

学校用(校長先生・教頭先生)1部、PTA役員用2部



# 市P連ニュース



平成29年度 No.4(3/1発行)  
千葉県PTA連絡協議会

暖かな春の兆しを感じる頃となりました。いよいよ平成29年度も残すところあとわずか。市P連会長をはじめほとんどが新メンバーでのスタートでしたが、この一年間、会員の皆様には市P連の活動に積極的にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、1月27日(土)、東京ベイ幕張ホールを会場に、恒例の新年情報交換会を開催いたしました。各校から学校代表・PTA代表の方々に参加していただき、29テーブルで「PTA活動の充実のために～今の課題と自校の取組～」というテーマに沿って、約1時間のグループ協議を行いました。

地域ごと、規模によっても様々な学校がある中で、共通の課題である役員の選出やPTAへの理解をどのように得るのかについては、特に貴重な意見交換が繰り広げられたようです。行事や役員人数の見直し、活動日の工夫等で無理なく活動できるようにしたり、役員から「先生や地域の方々との交流が増え地元の魅力を再認識できた」などのメリットを広く伝えたりするなどの実践紹介もありました。同じ立場であるからこそわかる苦労や喜びです。各校の工夫を聞いて励みとなる貴重な時間となりました。このときの様子は、「市P連ちば(3/5発行)」でお伝えしています。どうぞご覧ください。

第二部の懇親会では、公務ご多用の中、千葉市長 熊谷 俊人様、千葉市議会議長 小松崎 文嘉様、教育長 磯野 和美様にご臨席いただき、終始和やかなムードにて会が進みました。各区紹介のコーナーでは、それぞれの区の団結力と工夫のある見事なパフォーマンスが披露され、会場が大いに盛り上がりました。乾杯では小学校長会長 小川 達也様から、中締めという言葉では中学校長会長 伊藤 剛様から、PTAに対する熱いご支援と励ましのメッセージをいただき、大拍手の中で会を閉じました。

政令指定都市の会議で、ある会長が、「PTAは、『面倒、大変』ではなくて、楽しんでやること。親が背中を見せることが大事。『PTAのPはぱっと、Tはたのしく、Aはあつまろう』をモットーにして活動している。」と話され、なるほどと思いました。近年、AIなど技術革新が急速に進む中でこそ、人と人とのつながりや絆、笑顔でつながる活動が、一層価値あるものに思えたひと時でした。



本年度 市P連役員・常置委員・事務局

市P連では、活動をもっと「みえる化」しようと取り組み始めました。任意加入などの情報でマイナスイメージが先行する中で、もっと積極的に思いを伝え、具体的に実績を紹介しようと考えています。

皆さん、これからも共に頑張っていきましょう。

## 第4回理事会議事録

平成30年2月7日(水)

14:00~15:30

千葉中央C.C.5F 講習室1

### ◆ 会長あいさつ (大塚会長)

こんにちは。お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。1月27日新年情報交換会は皆様のお力をお借りして無事に終了する事ができました。ありがとうございました。

今日の午前中の役員会で、校長会からインフルエンザが猛威を奮い学級閉鎖になっている状況で懇談会が延期になったとお話がありました。各学校では、これから卒業式シーズンでいろいろ最後の行事もあると思いますが、学校と協力して進めて頂きたいと思います。

本日は、来年度の事業計画など、今後の活動に向けて充実した意見交換をしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

### ◆ 報告

#### ◇ 会務報告

※市P連役員(会長・副会長)が参加した会議の主なもの

12/18 教育予算拡充等を求める要請書(県知事宛)提出

伊藤副会長

1/9 平成30年新年教育懇談会

会長

1/26 関東ブロックPTA 会長・事務局長会議(静岡市)

会長・事務局次長

#### ◇ 各区P連報告

《稲毛区》・2/8 役員会 2/22 理事会。

《花見川区》・2/3 役員会 2/17 理事会。

《若葉区》・12/6 若葉保健福祉センターにて研究大会。内容は「スマホ依存について」  
2/8 役員会 2/14 理事会。

《緑区》・2/3 役員会。

《中央区》・1/13 役員会 1/27 理事会。

《美浜区》 特になし

#### ◇ 各委員会報告

《総務委員会》 《事業委員会》 《広報委員会》 新年情報交換会に参加。  
・広報紙「市P連ちば72号」3/5 配布予定。

#### ◇ 役員選考委員会報告 (大堀委員長)

各区選出選考委員6名及び市P連代表委員1名で構成。互選により、大堀武久委員(中央区)が委員長、戸村陽介委員(若葉区)が副委員長、林有香委員(花見川区)が記録(書記)に選出された。各区から選出される平成30年度役員の枠を確認し、今後に向けての日程確認を行った。各区からの役員選出締め切りは4月9日。

#### ◇ 関東ブロック研究大会千葉市大会実行委員会報告

＜実行委員会について(星野実行委員長)＞

1/17に第4回実行委員会を開催した。「実行委員会だより」を役員会・理事会で配布し進捗状況を伝えるという形でやって行く。関東ブロック千葉市大会の一次案内(素案)を関東ブロックの16協議会の会長・事務局長会議において大塚会長が提案した。

＜シンボルマーク応募状況について(江波戸広報部長)＞

シンボルマークの募集にあたり皆様のご尽力に感謝している。1/31の締め切り時点で880通。これから専門家として緑が丘中の平野校長先生に審査委員に加わっていただき審査を行う予定。

## ◇関東ブロック会長・事務局長会議報告 (事務局)

8/24・25に開催予定の第66回日本PTA全国研究大会新潟大会は、関東ブロックPTA研究大会と兼ねており、関ブロ各協議会に多数参加要請がきている。しかし、遠方でもあり、旅費(宿泊費含む)・参加費共に経費が多くかかるため、本年度同様、次期開催地PRを目的とする千葉県大会実行委員会及び市P連役員を中心に視察を行う予定。詳細は二次案内が届いたら再度説明を行う。

## ◆ 議 事

### (1) 新年情報交換会の反省(担当:星島副会長)

※当日の情報交換のテーブル記録の抜粋を掲載した資料により、第1部では各テーブルとも、有意義な意見交換が行われたことがわかる。以下は、役員会での意見を伝えながら今後に向けての反省点を話し合った内容である。

- ・進行も概ね順調だったが第2部になって少し延びてしまい、会場の撤収がギリギリになり、慌ただしい感じになった。
- ・今年度初めてやってみた市P連のPRタイムは、市Pの役員会では時間は短かったがやってみて良かった。出来れば来年以降も取り入れて行きたいと思っている。
- ・区Pの皆様をお願いしたPRタイムは、進行のスケジュール管理が甘くて時間が中々予定通りに進まなかったため、来年はPRタイムの開始時間を早め、前半の部と後半の部に分けて間に休憩時間をとっておけば、少し延びてもその時間で調整できるのではないかという意見が出た。
- ・各校、各ブロックでの学校紹介を発表したのは、聞いている方が後半の学校まで集中力が持たない、最後まで中々聞けず申し訳ないと言うような意見があったので、来年度は検討して頂けたらと思う。
- ・今回は熱が入り、各区の持ち時間をオーバーしてしまう所もあったので、次年度は、後何分というような合図をしてお知らせしたい。
- ・市P連や関東ブロックPTA実行委員会のPRは今までなかったが、今回よかったという声を聞いている。(中央区)

### (2) 次年度年間行事予定について

#### 【主な日程について】

○第65回定期総会 5/29 市P連バレーボール大会 10/6 新年情報交換会 1/26

○第32回研究大会は、各校でのPTA関連行事の多い11月を避け、多くの会員の参加が可能なように、10/30(火)に予定している。関東ブロック研究大会は本年度全国大会と兼ねた新潟大会となり、8/24・8/25開催となる。

## ◆ 連 絡

### (1) 市P連表彰受賞者推薦依頼及び広報紙コンクール募集要項を配布済。(事務局)

配布 1/31(水) → 応募締め切り 3/16(金)

### (2) 教育委員会(学事課・保健体育課)から「卒業積立金の徴収」について (事務局)

※午前中の役員会で教育委員会学事課・保健体育課から、以下の通り、報告・依頼があった。この4月から学校給食費の完全公会計化になる。今までの校長先生の管理する私会計から、「公会計」つまり、千葉市の管理する「公金」になる。合わせて、教材費等の学校で集めていたお金を準公金という扱いとし、千葉市として一括して管理しつつ、お金を徴収する制度をスタートさせる。市の公金になるので、給食費は市の予算として配布され、手数料もかからなく

なる。決定事項としては、給食費と学校徴収金を一括口座引き落としする制度をこの4月から導入する。

この制度の目的は、保護者の公平性の確保と利便性向上・負担軽減、職員の業務改善と子供と向き合う時間の確保、給食費等の徴収に関わる教員の労力と時間とエネルギーを何とか削減したいということである。効果として年間190時間前後、職員の事務が軽減されると考えている。

P T A等の会費については、今現在は多くの学校で引落とし徴収しているが、公金・準公金ではないので一括徴収には入らない状況になる。これについては昨年からP T Aと学校と話し合いながらどうするか進めていただきたいと伝えている。

今回確認させていただきたいのは、「卒業関連費」の徴収は一括徴収システムに組み込むようお願いしたいことである。学校によっては学校対策委員さんがいてP T Aが管理する卒業対策予算の部の扱いになっている学校もあるが、卒業アルバムや文集を作ったりするお金については、教材費と同様な扱いと考えて、教材費等との一括徴収システムで1本化して徴収していきたい。集金計画については学校と保護者でよく相談し準備をお願いしたい。

子どもが学校に現金を持って来る事や保護者が学校で現金を扱う事が少ないと事故が少ないと考えられるので、卒業対策費（進路対策費）は一括引き落としシステムの中に組み込んでいくよう、ご理解とご協力をお願いしたい。（以上学事課、保健体育課より）

\*\*\*\*\*

#### ◆理事会では今回も各区の情報交換を行いました。

○情報交換会では中央区のパフォーマンスに圧倒された。結束力というか練習の成果というかとても見事で感動した。日頃どんな運営をしているのか。

→ 仕事をしている役員が多いので理事会は土曜日に行っている。忙しいのは皆同じだが、昔からコミュニケーションを重視して、わいわい楽しんでやっている。練習も各自個人練習をしてきて皆で合わせるという感じであった。（中央区）

○研修会を区で開催しているところはあるか。どんな内容か。

→ アドラー流子育てや携帯スマホについての研修会などを行っている区もあるが、今のところ行ってない区もある。年度当初に区P会長同士で合同研修会の開催を開くことを考えてもいいのではないか。そうすれば自分の区以外の事情もわかるし刺激を受ける。次年度に是非引き継ぎをしたい。

○各区P連では加盟単位P T Aから会費（負担金・分担金）を集めていると思うが、どのようなシステムなのか。

→ 大規模校も小規模校も同じ負担金で1校〇〇円という区もあれば、児童生徒数1人につき40円（20円）×人数に行っている区や、家庭数×〇円に行っている区など様々であった。各区の情報交換の結果を共有し、今後の区Pの運営に生かしたい。

今回の理事会も各区の理事さんとの意見交換が活発に行われ、貴重な情報交換の場となりました。

\*\*\*\*\*

#### 【出席者】

大塚会長、伊藤副会長、星島副会長、江波戸書記、行木書記、矢嶋会計、長澤監事、星野関プロ実行委員長、斎藤総務委員長、伊藤広報委員長、花見川区：林会長、西田理事、稲毛区：戸ノ下会長、丸山理事、高橋教頭 中央区：大堀会長、水野理事、若葉区：戸村会長、緑区：高嶋理事 美浜区：上妻会長 神尾事務局次長、福永事務局員